

一般質問

きることは地球全体の課題。日本に限らず、持続可能な開発、成長を続けていくためへの知恵と実践が求められる時代に入ってきていると考えている。

福島で何を見てきたか

問 日本や鳥取の持続可能性を一番脅かしているのは原子力発電所の存在だ。会派希望は福島県や島根原発を現地調査し、自治体として初めて原発の建設差止訴訟を提起した工藤函館市長の話も伺った。知事も福島第一原発を訪問されたようだが、どのように感じられたか。

答 現場を見て今後議論される再稼働問題に備えて周辺地域として知見を得ておく必要を感じた。汚染水漏洩情報が遅かったことは、官僚主義、巨大組織の弊害ともいふべき隠蔽体質を疑わざるを得ない。地下水対策は、新規制基準に盛り込むよう国に求めていく。

細川流再エネの捉え方

問 細川元首相と小泉元首相が自然エネルギー推進会議を発足させ、持続可能なエネルギー政策を訴えているが、知事はその思いをどう聞かれたのか。

答 再生可能エネルギーを活用して、これまでと違ったベストミックスを国を挙げて創るべき時期に来ている。ただ、細川さんらの動きは政治活動に流れる部分もあるので考え方の一つと思っている。

子育て特区を創っては

問 自治体の持続可能性を人口減少が脅かしている。結婚出産や子育ての特区を検討すべきでは。

答 全く同感だ。智頭町の「森のようちえん」には国の手当てがない。骨太方針や規制改革を注視しながら、少子化対策をやっている国のスキームができれば手を挙げたい。

集団的自衛権を問う

問 解釈による改憲は立憲主義に反する。限定的でも集団的自衛権の行使容認となれば戦争できる国になってしまう。知事の考えは。

答 今後、自衛隊法や武力攻撃事態対処法など法律改正の議論が出てくる可能性があり、違憲立法審査権で最高裁の判断を仰ぐことになるかもしれない。ただ、日本国憲法が考えていた崇高な理念は国民も望んでいるところ。そこに十分配慮した議論を望みたい。

6月定例会では、24人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

29号線振興策 県産材活用策

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 ①鳥取道全線開通に伴い国道29号線等の交通量が激減しているが東部振興監内に担当を設け29号線をモデルに部局横断型振興策を講じてみては②全国で観光列車が話題だが若桜鉄道でも内装に杉を使う等振興策を図ってみては。

答 ①早速、東部振興監に兵庫県側も含めた29号沿線関係者と構想や振興策について協議させたい②若桜鉄道の車両に県産材を活用するというアイデアを若桜鉄道や沿線町へ報告し、いろんな形で木材の振興策を図っていきたいと思う。

島根原発の 再稼働急ぐな

伊藤美都夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 希望

問 いま、政府と経済界も原発早期再稼働を求めている。原発事故は必ず起きる。原子力防災について、県民の理解が得られない限り、再稼働を急ぐべきでない。

答 福島の教訓を生かした原子力安全対策が必要だ。首相さえ再稼働を前進させるような言動を取っている。規制委員会は、プレッシャーをはね返して、冷静に冷徹に審査をし、時間をかけてでも、じっくりと的確な審査をして欲しい。

会派正式名称

自由民主党…鳥取県議会自由民主党
 絆のぞみ…鳥取県議会会派「絆」
 希望…鳥取県議会会派希望
 公明党…公明党鳥取県議会議員団
 共産党…日本共産党鳥取県議会議員団

再生可能エネ 導入の加速を

砂場 隆浩 議員



選挙区 鳥取市 会派 希望 のぞみ

問 ①国のエネルギー基本計画は再生可能エネルギー導入が加速したように見えるが、鳥取から緩やかなエネルギー革命を起こすという方針に変更はないか②メタンハイドレート開発を加速すべきでは③系統連系の費用増大や容量制限が再生エネ導入を妨げている。支援策を思い切って強化すべきではないか。

答 ①当然ながら変えていない。再生エネの導入は予定以上だ②夢を描いて向き合いたい。まずは人材育成から取り組む③謙虚に、実情を見ながら必要に応じた見直しをしたい。

霜注意報 精度アップを

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

問 4月に発生した霜で県内の柿や梨に約4億円の被害が発生した。霜が降りやすい地域を地図に示すハザードマップを作成し、よ

り精度の高い的確な情報提供が必要では。

答 秋をめどに普及所等で持っている霜被害情報や地形的な条件を加味し、ハザードマップを作成するとともに、園芸試験場で防霜対策について研究したい。

また、全県的に発表されている霜注意報を、地域を絞り込んで農家に警戒情報として提供する取り組みについても検討したい。

土曜授業等の 推進の為に

安田 優子 議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

問 知事の強力なリーダーシップで実現した土曜授業等を通して本県教育に何を期待するか。多くの県民の民意で始まったこの事業が多忙な先生方の犠牲の上に成り立ってはならないと考えるが。

答 学校の先生に加え、地域の方々に参加していただき地域全体の教育力を高めていきたい。先生方に負担がかからないような工夫が色々とされているので、その結果を見て必要な環境整備をしていきたいし、国にも教員の加配等制度的裏打ちを要望する。

スポーツで 外国人誘客を

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 希望 のぞみ

問 ①スポーツツーリズムで本県への外国人誘客を進めるため、国際大会等の誘致に取り組む専門家集団「鳥取スポーツコミッション協会」の新設を提言したい②県内建設業を支えるために切れ目のない通年発注を考えるべきではないか。

答 ①スポーツ振興監を知事部局に設けたので、スポーツコミッション機能を果たせる体制を検討したい②前年度に設計をするなど段取り良く計画を立て、そういう財政フレームも考えれば不可能ではないはず。今後、工夫していきたい。

持続可能な 食の安心安全

国岡 智志 議員



選挙区 八頭郡 会派 希望 のぞみ

問 ①集約化できない山間部の水田には環境や水資源の保護等を考慮した新たな制度が必要ではないか②智頭町の疎開保険の様な疎開農業を実践してみてもどうか③耕

作放棄地解消や限界集落再生に向けて、里山資本主義を鳥取県から全国に発信してみてもどうか④国の農業改革に鳥取県はどうか対応するか。

答 ①多面的機能の直接支払を行っていく②都市と農村との交流を応援していく③岡山県と共同で里山資本主義をPRしていく④現場の声を的確に国に要請していく。

小児がん対策 施策の充実を

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

問 小児がんの子どもたちを支援するため、病院に専門職としての「ホスピタル・プレイ・スペシャリスト」を派遣する体制も必要ではないか。

答 この資格は病気や障がいのあるお子さんやその家族を対象に、子どもが感じる苦痛やストレス、不安などを遊びの力を用いて軽減して、医療との関わりを前向きに向かっていくということをサポートする専門職だ。そういう資格を持つことへの支援等に要望があればぜひ検討してみたい。

まちなかの賑わい創出

浜崎晋一 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ① 持続的で活力ある地域社会とするためには、地域の将来を担う若い力が必要。若者の活躍の場を作っていくため、リノベーション（遊休不動産を活用した地域再生・活性化）の取組を進めてはどうか② 若者の活躍の場に高齢者の視点を入れた「鳥取県型のまちづくり」を展開していくべきではないか。

答 ① まちに活気を与えるリノベーションの推進をぜひサポートしていきたい② まちづくりの中で、高齢者の活躍の場づくり、高齢者の居場所づくりを支えていきたい。

コメ交付金と県産木材利用

興治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 絆

問 ① 国はコメ交付金を7500円に半減した。制度改悪だ。本県農業への影響は② 県産木材利用促進のため、民間事業所への支援

策を。

答 ① 大規模農家ほど影響は大きく、「機械の整備や更新計画の変更を余儀なくされた」などの声が上がっている。県内への影響額は8億円強だが、飼料米の交付金や日本型直接支払制度で、マイナス額をカバーしたい② 診療所や個人の店舗、事務所などの小規模施設で、県産木材を活用した建築や内装などを対象とした新制度を検討する。

湖山池の振興策を問う

藤縄 喜和 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 湖山池に遊覧船が運航する計画がある。また湖山池でヤマトシジミの漁が再開された。どちらも30年ぶりのこととなるが、県も支援するべきではないか。

答 遊覧船はジオパークの目玉になる。市と一緒に財政的にも支援する。シジミについては、貴重な水産資源として、生息環境を整え、販路開拓も制度の中で応援していきたい。



「空の駅」等で空港活用を

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 県内空港を「空の駅」として活用すべき。諸課題について問う。

答 鳥取空港は、空の駅、鳥取砂丘コナン空港構想を含めた有効活用、マリニピア賀露とのゾーンニング、観光や物産を絡めたイベントを検討する。鳥取空港チャーター便は、9月ロシアと年明け台湾が見えてきた。C-Q体制は県でもサポート体制を作り、秋にも連続受入が可能。またワンストップサービス化、体制整備など国に要望する。境線の航空便への接続改善と米子空港駅直行便は、JR側に申し入れる。

タンデムの公道走行を！

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

問 ① アルコール健康障害対策基本法成立に基づく鳥取県での推進計画を問う② 道路交通法施行細則を改正し、タンデム自転車の公道走行を可能にし、併せて、タンデ

ム自転車の安全な乗り方をアピールすべきではないか。

答 ① 国よりも先に県で前倒しして推進計画をつくり、先導的に実施していく（警察本部長）② タンデム自転車の特性をまず理解し、事故防止や安全確保対策の分析や、県民にご意見を聞いた上で、ご期待に沿えるような時期の解除を目指したい。

地酒振興と男女共同参画

浜田 妙子 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 ① 都議会のセクハラヤジ問題について感想を伺う② 県庁、県立学校の女性管理職の割合を、今後どう高めるのか③ 断酒会の体験談を教育現場で生かすべきだ。また、地酒振興に取り組み、そのための条例も考えたかどうか。

答 ① 都議会の自浄能力に期待する② 今までのタブーを打ち破り、確固たる信念で全国をリードして行く③ 産業振興条例を生かした地酒振興は全庁的に取り組む（教育長）② 課題を深掘りし、進める③ まずは断酒会の話をもつてみる。



看護師養成の 修学資金返還

森 雅幹 議員

選挙区 米子市 会派 絆



問 修学資金を受け、県外の病院に就職した場合、制度は全額返還だ。就職したばかりの若者が借りた金額と同額を同じ期間で返すのは難しい。制度の周知と併せ、もっと返し易くするべきでは。

答 現状でも個別の返還相談は受けている。提案のように、就職先選択時に県内での就業選択を狙って、就業先とのマッチングを兼ね

たサマーセミナーの案内と併せ改めて制度を知らせるのは有効な手段だ。また、毎月の返還額についても検討してみたい。

不在者投票事務の 透明性

稲田 寿久 議員

選挙区 米子市 会派 自由民主党



問 指定病院等における不在者投票及び代理投票による不在者投票について、その立会人に関して、公正な管理執行の確保の為に、是非とも施設の職員以外の者を立ち合わせる必要があるが、現在の取組み状況は如何。

答 (選挙管理委員会委員長) 平成25年に改正公職選挙法が施行。その内容は、不在者投票の公正な実施の確保に努めると云う努力義務規定が新設された。同時に、説明会の中で、外部立会人の選任も含め、公正確保につき積極的に取り組んでゆきたい。

介護保険制度 改正への対応

濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市 会派 公明党



問 高齢化・人口減少社会の中で、医療・介護総合推進法の成立に伴う介護保険制度の改正は重要だ。今後の県の基本的な取り組み方針や、消費税増税による新しい財政支援制度の活用を考えては。

答 県は、地域包括ケアシステムの構築の役割を担う市町村に対し、圏域ごとの連絡調整会を持つなど現場に即したサポートを行う。また、社会保障改革により創設される基金制度を上手く運用して、市町村の取り組みの下支えをしていく。

他県の産廃も 処分場に搬入

錦織 陽子 議員

選挙区 米子市 会派 共産党



問 他県の産廃も最終処分場に持ち込むという事実が、自治会や米子市議会全協で説明されず、恣意的に説明したとしか思えない。これで説明責任を果たしたといえるか。正確に説明すべきではないか。

答 説明したと記憶している。中間処理業者の処理の過程では県外物と県内物合わせて処理することが必要で、なかなか分離できない。量的には、中間処理されているも

の約1割が県外物だが、県内から県外、県外から県内に入ってくるものはほぼ同量程度が現状だ。

憲法・農業・ 介護・若者

市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市 会派 共産党



問 ①解釈改憲の集团的自衛権に反対を②農業改革に反対し、霜被害の所得支援を③医療介護法の撤回を④若者ブランク企業対策を。

答 ①関心もって見守る。憲法解釈は基本変えてならぬが、解釈可能な範囲の議論だ②農協信用事業切離し、農業委員削減は問題。現場の声を聞くよう求める。霜対策は声を聞き対応する③専門サービスから要支援を排除せぬよう市町村を指導し、特養は要介護1・2入所継続可、整備も検討。小規模デイ防火対策は確認する④実態掴み対策を拡充する。

天神川流域の 下水道整備

長谷川 稔 議員

選挙区 倉吉市 会派 無所属



問 倉吉市や周辺町では、流域下

水道計画が立てられたことで加速的に下水道網の整備が進み、当時の県の英断を評価、永続的な運営を期待する。合併処理浄化槽の活用、農業集落排水と公共下水道の接続などの検討を求めぬ。

答 流域下水道を含め、市町村と連携し、全国平均を上回る91%の整備を達成した。天神浄化センター、幹線管渠など長寿命化を図る一方、収入の適正化で住民の負担を軽減する。統合処理など効率に行えるよう助言を行っていく。

企業誘致のあり方を問う

坂野経三郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 全派 絆

問 企業誘致は進めるべきだが、今日までナノオプトニクス・エナジー社へ、4億円強もの県税を支出しながら、一千万円程度の売上しかない。同社への補助金交付目的の達成は困難と考えるのが県民の声だ。鳥取県補助金等交付規則第13条を根拠に、補助金の全額返還を求めべきだ。また、今回の反省から、企業誘致のあり方について、再検討すべきではないか。

答 企業誘致の規定等のあり方に

ついては、今回の議論を総括した上で、一定程度の見直しをしていく。

県版経営革新更なる充実を

内田隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 鳥取県版経営革新は、鳥取県の中小企業の経営の改善と雇用の改善に大きな役割を果たしている。更なる補正予算の措置が必要と考える。所見を問う。

答 県版経営革新に関する予算の傾向は、販路開拓が4割程、新規の商品、サービスが4割位。実際、旅館、ホテルのサービス改善や、新商品開発とか前向きな資金投資になっている。9月補正、12月補正等に対応してまいりたい。

県産材輸出と鳥取港の活用

谷村悠介 議員



選挙区 鳥取市 会派 無所属

問 DBSフェリーの有効活用のためにも、韓国や中国に盛んに木材を輸出している宮崎県と力を合わせ、県産材輸出に力を入れてい

くべきではないか。そこで境港と、輸出が0の鳥取港で施設を整備し県産材輸出を行ってはどうか。

答 輸出企業のサポートをする姿勢で臨む。輸出の需要に合わせ荷役機械等の体制の整備を検討する。境港を利用すると荷役・輸送料金も安い。鳥取港も野積み場等の情報提供で利用促進を図り、機能が十分になるよう努力したい。

特別支援学校寄宿の充実を

斉木正一 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 ① 夢の浦高等特別支援学校は職業教育に重点を置く。期待を集めているがどう応えるか ② 寄宿舎に入舎を希望する生徒は全員入舎できるようにすべき。

答 ① 学校と生徒が地域との触れ合いの中で生きた職業教育をする(教育長) 生徒は職業生活、社会生活ができる社会人に向けて着実に歩んでいる ② 事情がある場合は入舎できるので、入舎状況等の推移を見守り、保護者等のニーズを探りつつ、必要な生徒は入舎させる観点から、必要な見直しを検討していきたい。



答弁者は、記載のないものは知事(各部長の答弁も含む)。教育長、警察本部長、選挙管理委員会委員長は知事の部局ではないため別に表記した。